松飾德若譚　五編　假名垣魯文作

今朝春三組盃　初編　孟齋芳虎画

七編　山々亭有人補綴

いろは節要　初編　三遊亭圓朝作話

十編　鄙川周重画

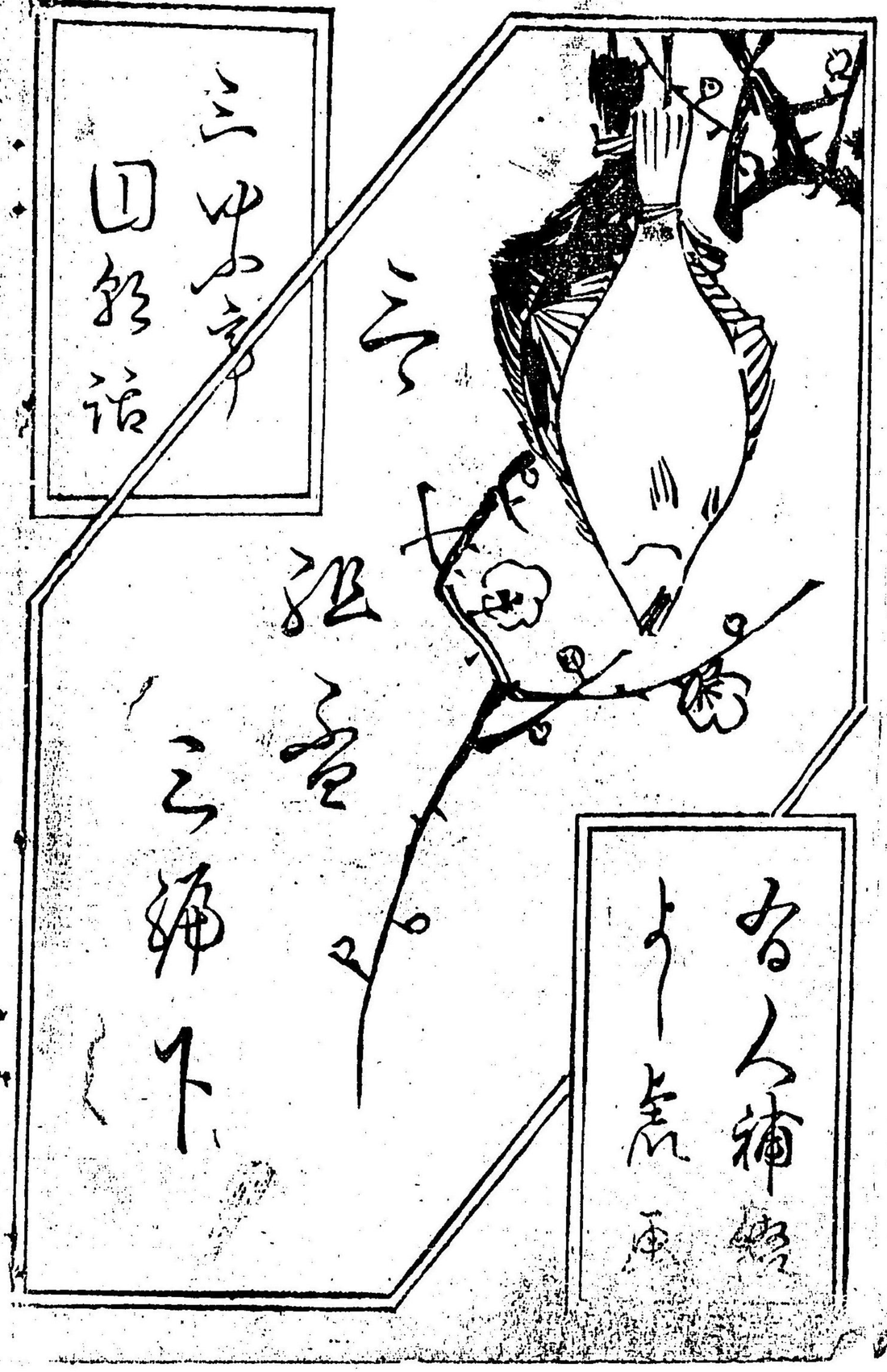
錦朝樓芳虎画図

繪本大豐記　二編　孟齋芳虎画作

三編　加賀屋吉兵衛板

新妻
三ツ組
芳盛堂
山ごもり
新妻
芳人
弥新梅
芳年

三世亭圓朝話



余いぬる水曜日指を受て樸淚み到りとろくなる人色と
苦像の徒文を請ひ丹情といろづくり浅草の梅と
花見に赤きを挙て此編の端書に独自己拙安楽り
苦むの労と免うるにてうそ

三遊亭圓朝記

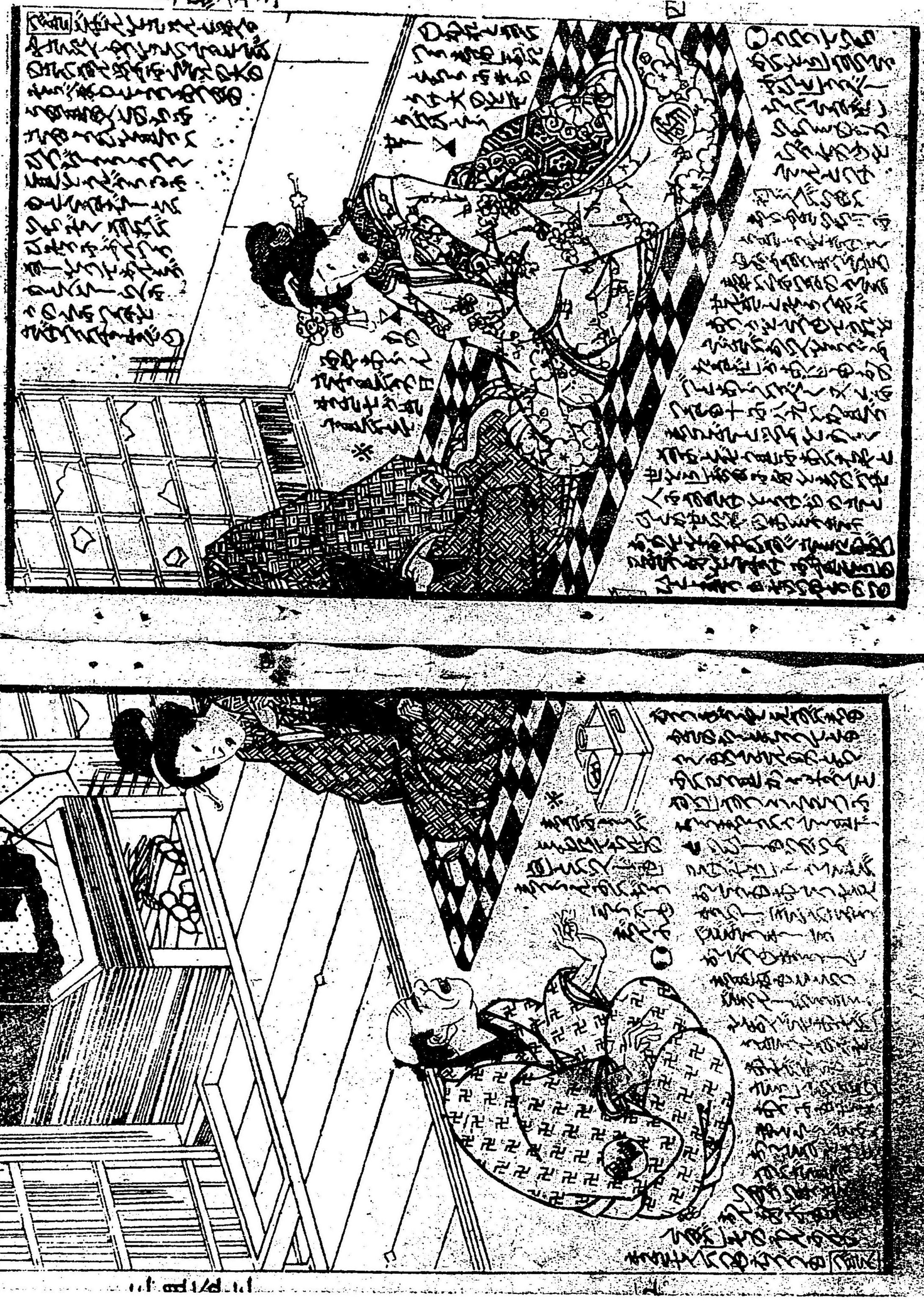
方禪は告像中上條
爺が葉とり一とつ山も家そそ葉園とあり晩アの光景
形しと云川も煙りて業烟紙屋の掘鉢も萱の牡丹安南
変写る開き手る形勢八蔓茘枝ふ出る化物も煙草盆
脳前と換ひば児童完はヤヤと云ぬのそうそ彼桃を希
ゆる鬼が面相へ歐羅巴亞細亜物まで有るる抹三等

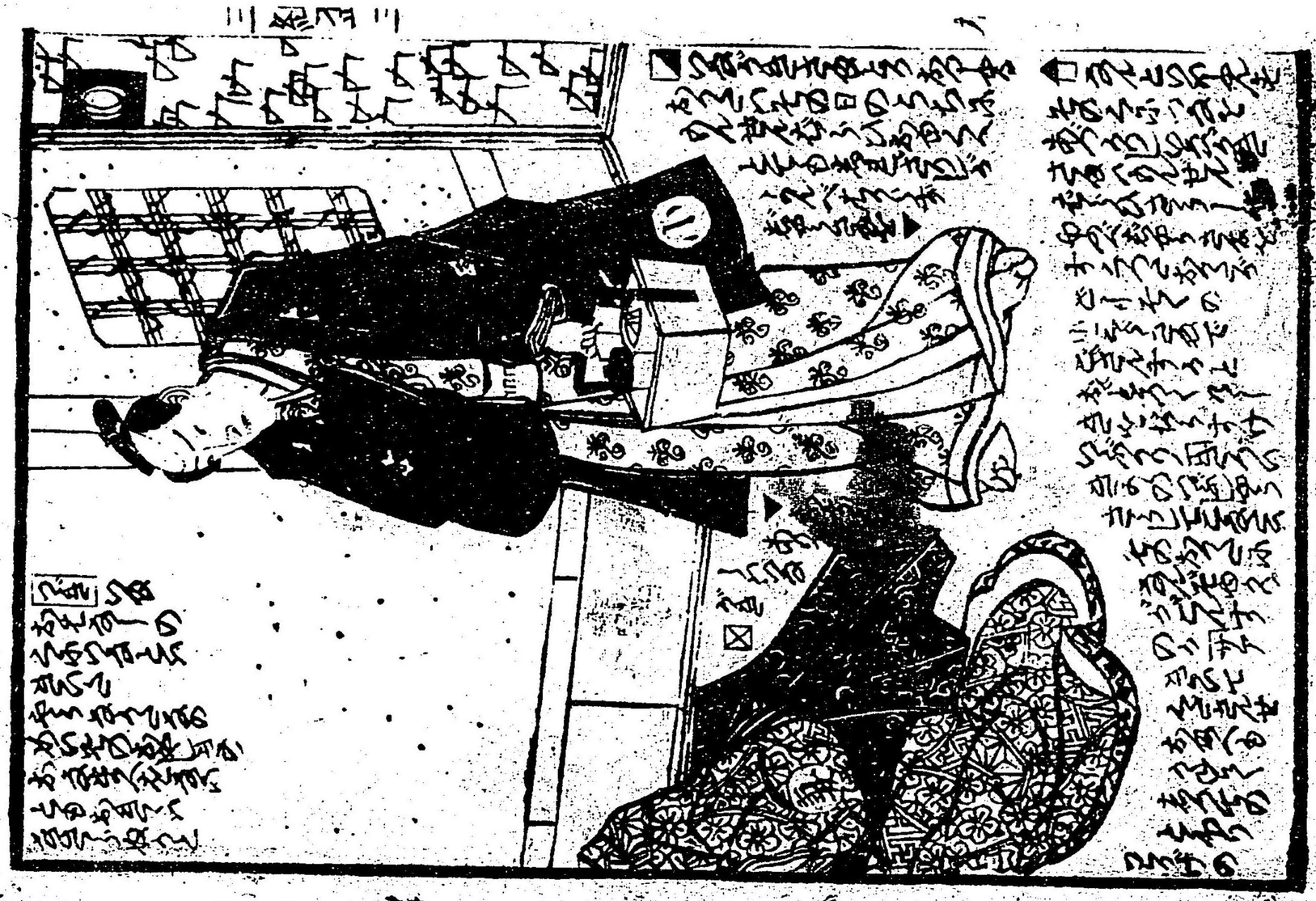
○於冨
后ふ
松葉屋の
抱若草

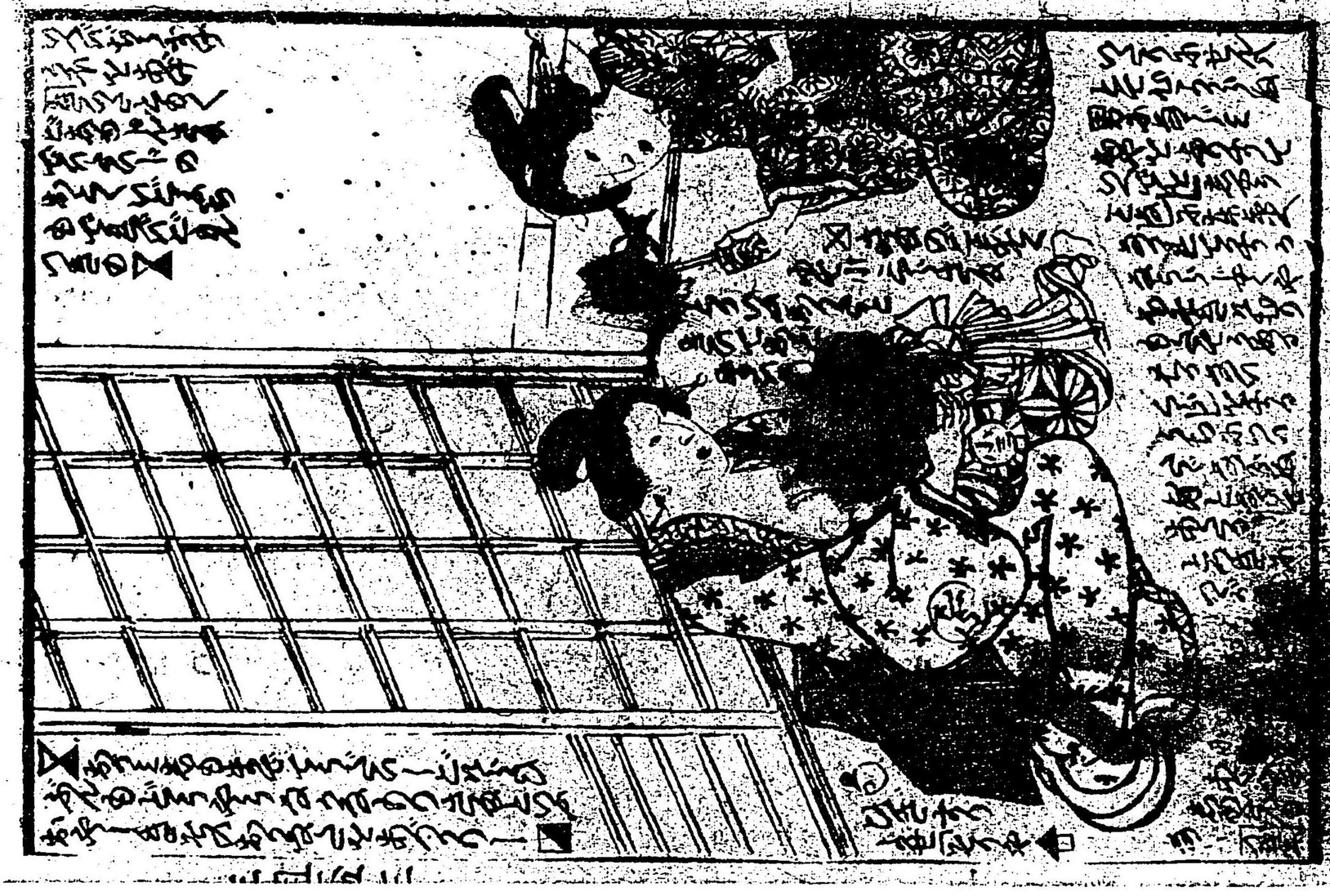
○浪士
大野
總兵衛

Eapie,

是か小三郎が
見あつ





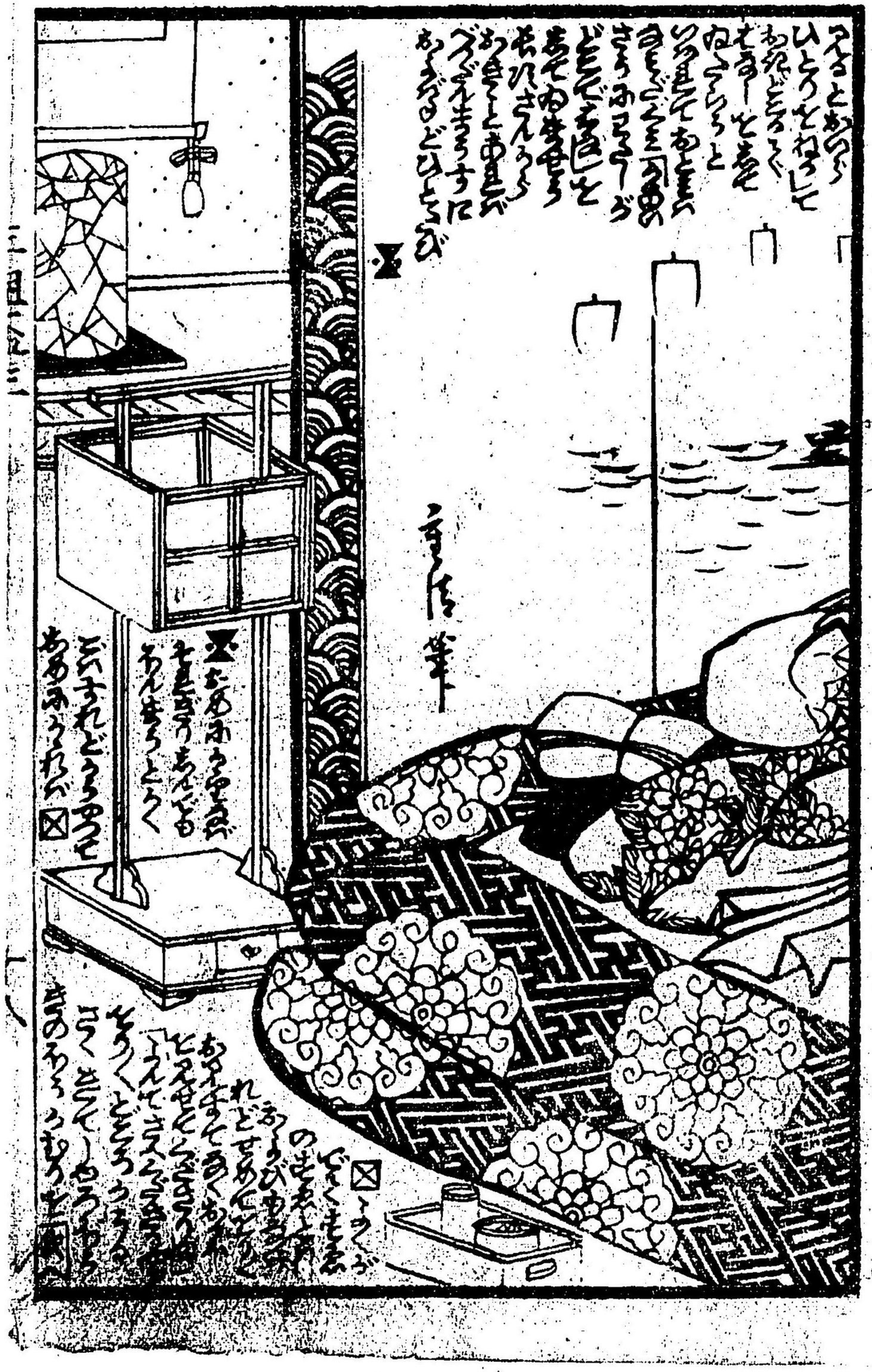


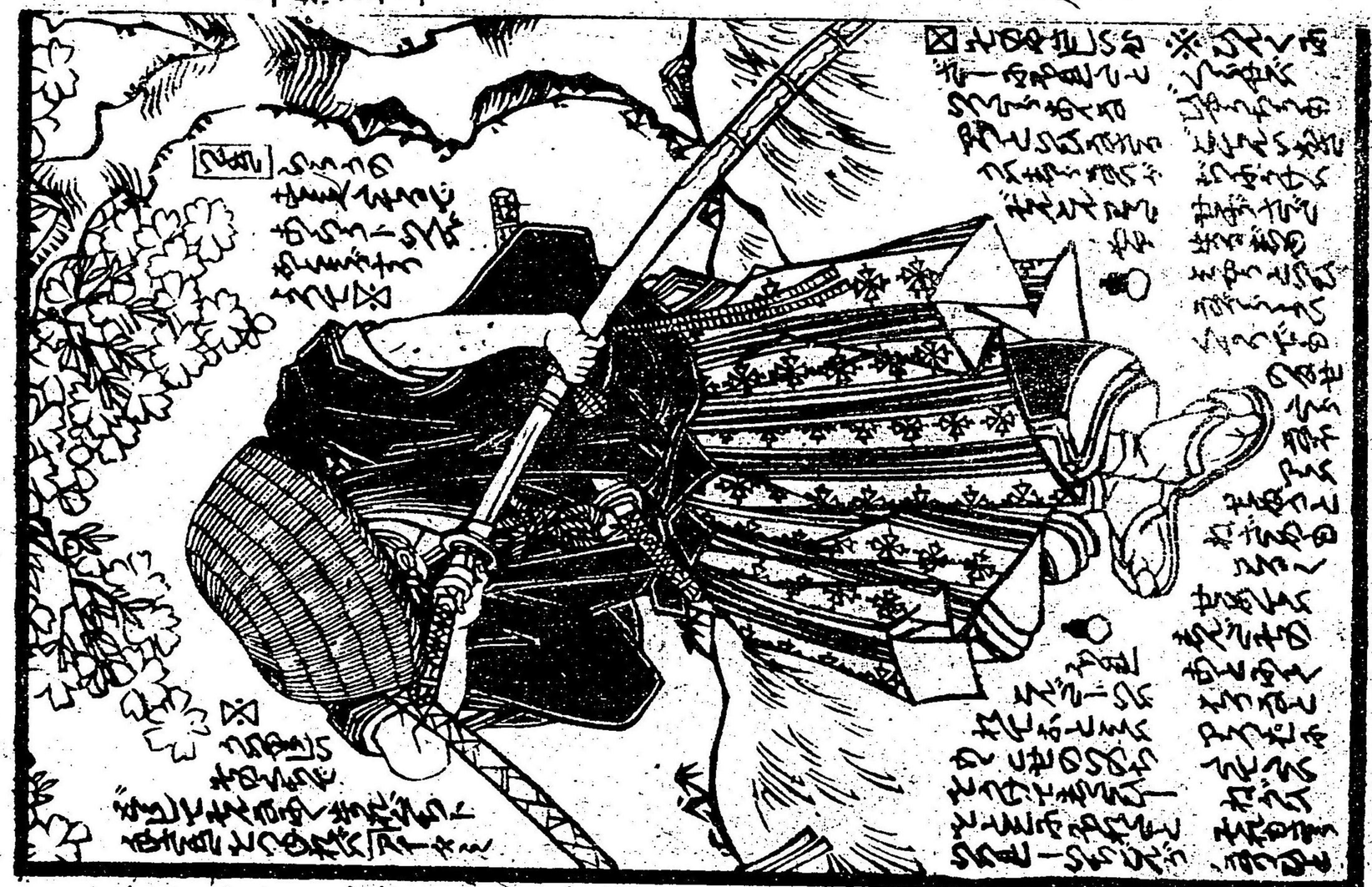
有人補圓朝話

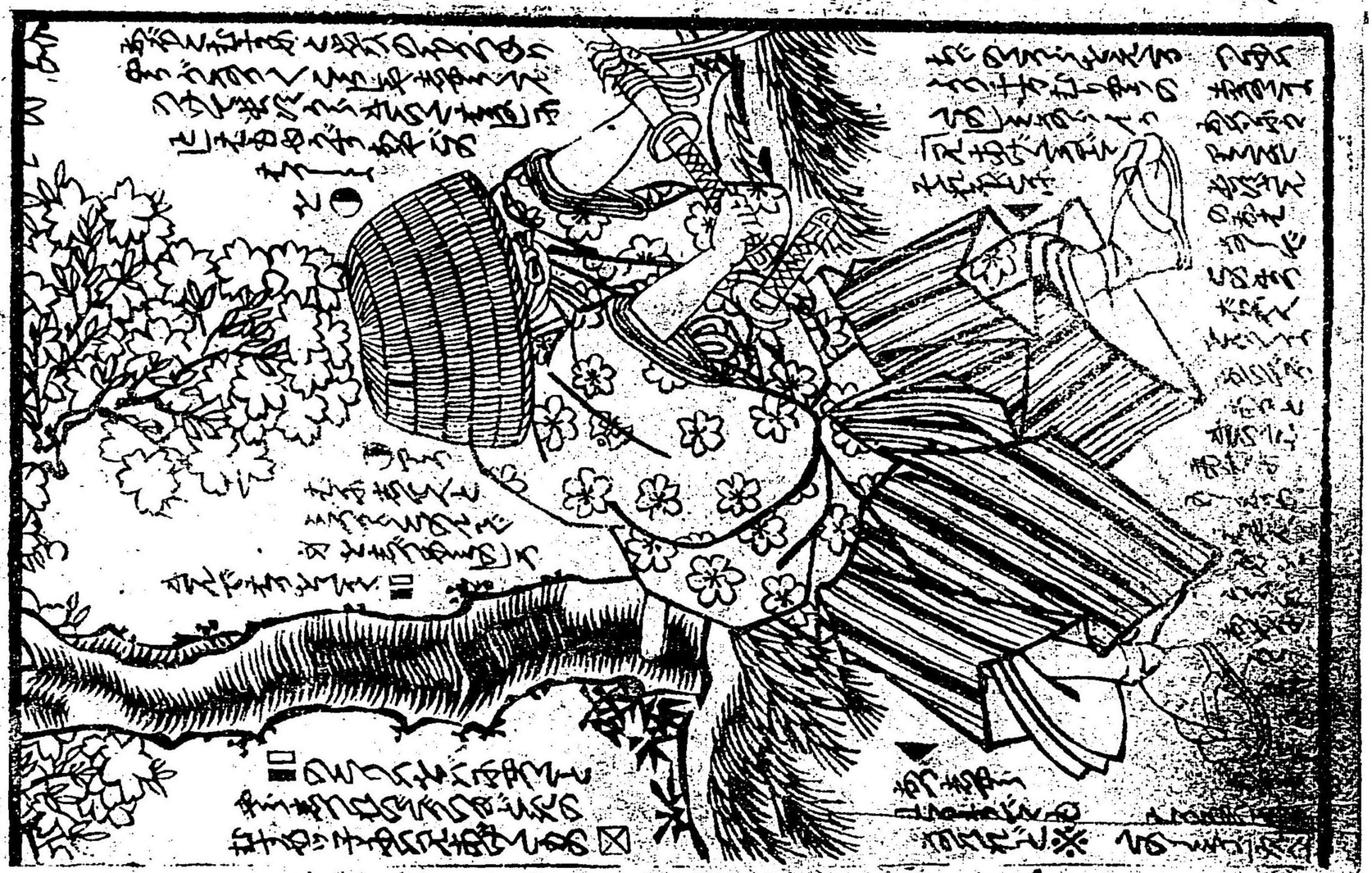
芳虎画

つぎ
丸山
伊

三のつぎ
つぎ







207
3
1041

新増補西國奇談

仕編　蓬洲芳虎画

薄緑娘白浪

九編　假名垣魯文作

渭田川月と梅若

五編　柳亭種彦作

六編　有人編　芳虎画

繪本太閤記

三編　孟齋芳虎画

大明堂　西國廣小路　加賀屋佐吉　横浜　街板

圓朝話

有人補

芳虎画

207
3
1041